

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年8月5日 (2010.8.5)

【公表番号】特表2009-541571(P2009-541571A)

【公表日】平成21年11月26日 (2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2009-517393(P2009-517393)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 31/4196 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/48 Z

A 6 1 K 9/02

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 9/70 4 0 5

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 45/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月21日 (2010.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i)

(a) 数平均分子量が 4 0 0 0 未満の乾燥ポリエチレンオキシド、

(b) 炭素数 5 ～ 2 0 の乾燥脂肪族ジオール、及び

(c) 二官能性イソシアネート

を共に反応して得られる水膨潤性線状ポリマーと、

(ii) 放出可能な薬学的活性剤

を含む、固形投与製剤用の薬剤放出制御組成物。

【請求項 2】

ポリエチレンオキシドが、当量 2 0 0 ～ 4 0 0 0 g / m o l のジオールである請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

脂肪族ジオールが、炭素数 5 ～ 1 5 のジオールである先行するいずれかの請求項に記載の組成物。

【請求項 4】

脂肪族ジオールが、炭素数 8 ～ 1 5 のジオールである請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

脂肪族ジオールが、1, 6-ヘキサンジオール、1, 10-デカンジオール、1, 12-ドデカンジオールまたは 1, 16-ヘキサデカンジオールである請求項 1 に記載の組成物。

物。

【請求項 6】

二官能性イソシアネートが、ジシクロヘキシルメタン-4, 4-ジイソシアネート、ジフェニルメタン-4, 4-ジイソシアネートまたは 1, 6-ヘキサメチレンジイソシアネートである先行するいずれかの請求項に記載の組成物。

【請求項 7】

(a) : (b) : (c) の組成比が、当量換算で 0.01 ~ 0.1 : 1 : 1.01 ~ 1.1 の範囲内である先行するいずれかの請求項に記載の組成物。

【請求項 8】

親水性ポリエチレングリコール (PEG) 単位の含有量が、ポリマーの 50 重量%未満である先行するいずれかの請求項に記載の組成物。

【請求項 9】

疎水性ジオールの含有量が、ポリマーの 20 重量%を超える先行するいずれかの請求項に記載の組成物。

【請求項 10】

ジイソシアネートの含有量が、ポリマーの 20 ~ 50 重量%である先行するいずれかの請求項に記載の組成物。

【請求項 11】

固形投与製剤が座剤、膣リングもしくはペッサリー、口腔挿入剤、または経皮吸収型パッチである先行するいずれかの請求項に記載の組成物。

【請求項 12】

固形投与製剤がインプラントである請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 13】

活性剤が、分子量 200, 000 以下の薬学的活性剤である先行するいずれかの請求項に記載の組成物。

【請求項 14】

活性剤が、分子量 200 ~ 20, 000 の薬学的活性剤である請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

ポリエチレンオキシドを、脂肪族ジオールと共に真空下 85 ~ 100 °C で、溶解、乾燥し、その後二官能性イソシアネートを添加することを含む先行するいずれかの請求項に記載の水膨潤性線状ポリマーの製造方法。